

AICHI PREFECTURAL ART THEATER
愛知県芸術劇場 自主事業 ラインナップ 2026

4.12(日)14:00 芸術監督クロストーク 町田樹×唐津絵理 トーク

芸術監督の唐津絵理が、多様なジャンルの専門家を迎えて行うトークシリーズ。ゲストには元フィギュアスケーターで、現在は研究者、解説者、振付家としても活躍されている町田樹さんをお迎えします。

アートスペースA

5.2(土)3(日・祝) 劇場ワンダーランド 体験 キッズ ダンス オルガン

オーデンハウス THEオルガンNIGHT&DAY

Null『LiMBO』

愛知県芸術劇場の施設を、まるで遊園地を巡るように楽しめるイベントを開催。各ホールに劇場ダンスアーティストが登場。大ホールでは、舞台機構を活かしたパフォーマンスや、酒井はな&島地保武によるディスコやワークショップを、コンサートホールでは、劇場オルガニスト都築由理江と三東瑠璃による、パイプオルガンとダンスのスペシャルコンサートをお届け。さらに小ホールでは、Nullによる新作ダンスを海外公演に先駆けて初公開します。

大ホール・コンサートホール・小ホール

6.24(水)18:30 アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ / ローザス、アトラファイブ ダンス

『Il Cimento dell'Armonia e dell'Invenzione』 / 和声と創意の試み

世界的人気を誇るダンスカンパニー「ローザス」の7年ぶりの来日公演。ヴィヴァルディの名曲《四季》をダンスとして再構築!2024年に発表された、音楽と身体がせめぎ合う「ローザス」のスリリングなパフォーマンスがついに日本初上陸。

■振付:アンヌ・テレサ・ドゥ・ケースマイケル、ラドワン・ムリジガ
■出演:ローザス

アノ芸術創造センター名古屋

7.23(木)24(金) 子どもと大人のためのリラックスパフォーマンス 『やさしい革命』 キッズ ノンバーナバル

ベルギーの児童演劇カンパニー「カンパニー・デ・ミュタン」とサーカスカンパニー「サイド・ショー」が愛知県芸術劇場に初登場。世界をぐるりと歩き、3人の旅の物語。森や野原を横切り、山に登り、海と地平線を見渡す。ともに時間を過ごすうちに、少しずつ互いをわかり合っていく。演劇・ダンス・サーカスの面白さがつまった、誰もが自分らしく楽しめる作品です。

小ホール

8.13(木) げきじょうたんけんツアー キッズ 体験

本格的な舞台設備を備えた愛知県芸術劇場大ホールを見学できる探検ツアーです。舞台裏を、劇場スタッフ扮するジョニー隊長とジョニ子副隊長と一緒に探検します。対象は小学校1年生から4年生まで。毎年大人気のパログラムを、今年も開催します。

大ホール

8.20(木) オルガン・トークコンサート オルガン

ヨーロッパをはじめ、国内外でのリサイタルや作品の創作など、多方面で活躍するオルガニスト・作曲家の近藤岳によるコンサート。近現代のフランス音楽(フランク、デュリュフレ、メシアンなど)を中心にプログラムを構成。わかりやすい解説を交えて深掘りします。

■オルガン:
近藤岳(横浜みなとみらいホール・ホールオルガニスト)

コンサートホール

8.25(火) アントニオ・ナハロ舞踊団『ボレロ』 ダンス

【世界初演 × 伝説の再演】スペイン舞踊界の至宝、アントニオ・ナハロが放つ圧巻のエンタテインメント。狂おしく官能的な『ボレロ』と、エネルギーが眩しく弾ける『アレント』。鮮烈な情熱が溶け合い、魂を解き放つ至福の高揚感に誘います。

大ホール

9.5(土)13:00 愛知4大オーケストラ・フェスティバル2026 オーケストラ

2025年に始動した愛知県の4つのプロ・オーケストラが一堂に会する特別コンサート。今年はチャイコフスキーの交響曲第1、4、5、6番を各楽団が披露します。

■指揮:
山下一史(愛知室内オーケストラ)
角田鋼亮(セントラル愛知交響楽団)
藤岡幸夫(中部フィルハーモニー交響楽団)
川瀬賢太郎(名古屋フィルハーモニー交響楽団)

コンサートホール

9.19(土)20(日) 10周年記念凱旋公演 ダンス ラップ

ダンス&ラップ『ありか』

元ザ・フォーサイズ・カンパニーの島地保武とラッパーの環ROYによるライブパフォーマンス。国内をはじめフランス、香港でも賞賛を浴びた話題作が愛知に帰ってきます。

■出演・演出・振付:島地保武(劇場ダンスアーティスト)
■出演・演出・作曲:環ROY

小ホール

9.28(月) 集まれ、未来のオルガニスト 2026 オルガン

上半期コース 修了試演会

半年間、オルガンの練習に取り組んできた受講生が成果を披露します。入場無料・事前申込不要。下半期コースの修了試演会は3月下旬に開催予定です。

コンサートホール

10.16(金)17(土) ホフェッシュ・シェクター・カンパニー 『Theatre of Dreams』 ダンス 音楽

ロンドンを拠点に活動し、世界的人気を誇る振付家兼音楽家、ホフェッシュ・シェクターが愛知初上陸。12名のダンサーと3名の音楽家が出演する代表作の『Theatre of Dreams』を上演。幻想と無意識の世界を探索する本作は、シェクターの映画的な音楽の導きで、観客を夢の劇場へと誘います。

■振付・音楽:ホフェッシュ・シェクター
■出演:ホフェッシュ・シェクター・カンパニー

大ホール

10.16(金)17(土)11.21(土)22(日)12.5(土)6(日) 公募プログラム AICHI NEXT: Performing Arts Project パフォーマンス

新しい才能・人材の発掘と養成を目的に、愛知芸術文化センター内の多様な空間での公演を通じて発信を行う公募プログラム。分野を横断した実験的な作品や、アーティストの視点による地域資源の発掘・魅力の再発見など、多様な企画が選出され、上演へとつながっていきます。採択されたプログラムには、会場使用料の免除に加え、作品制作費の支援などのサポートを行い、次世代のアーティストによる挑戦的な創作活動を後押しします。出演アーティストは3月下旬に発表予定です。

小ホール・2階フォーラム(オープンスペース)

10.28(水) 絵本×朗読×パイプオルガン 『終わらない夜』 オルガン 朗読

【学校招待公演】10:30
【一般公演】19:00

カナダのトリックアート画家による絵本をもとに、愛知県芸術劇場が未来の観客に向けてオリジナルで創作したオルガンプログラム。絵本を映像投影しながら、本コンサートのために作曲されたオルガン曲の演奏と朗読によるパフォーマンスを、豊かな響きを誇る国内有数のコンサートホールでお届けします。

2024・25年に県内の小・中・高校生を対象に上演し、好評を博した本作を、今回初めて一般公演として上演します。

■作曲:坂本日菜
■オルガン:勝山雅世
■朗読:藤井咲有里

コンサートホール

11.21(土)15:00 愛知県立芸術大学管弦楽団 第37回定期演奏会 オーケストラ

東海地方唯一の公立芸術大学オーケストラと世界的マエストロの共演。ラヴェルの名作・管弦楽曲《ダフニスとクロエ 第2組曲》などを演奏します。

■指揮:ユベール・スダーン

コンサートホール

12.24(木)25(金) クリスマスはオルガンだ!2026 オルガン

クリスマス恒例のパイプオルガンコンサート。幻想的な照明や演奏風景のスクリーン投影、他楽器との共演などで雰囲気たっぷりのクリスマスを楽しくみください。

■オルガン:
演野芳純(リゅーとびあ新潟市民芸術文化会館 専属オルガニスト)ほか

コンサートホール

2027. 3.21(日・祝) NHK交響楽団演奏会 オーケストラ

2026年10月に創立100年の記念日を迎える日本最高峰のオーケストラ。27年のベートーヴェン・イヤー(没後200年)にちなんで、ベートーヴェン:交響曲第7番、第10コンサートマスター・郷古廉がソリストを務めるブラームス:ヴァイオリン協奏曲といった、N響が得意とするドイツプログラムをお届けします。

■指揮:リッカルド・ミナージ
■ヴァイオリン:郷古廉

コンサートホール

掲載情報は2026年2月4日現在の情報です、やむを得ない事情により、内容・出演者等が変更になる場合があります。公演の詳細や発売日など、最新情報はウェブサイトやチラシ等をご覧ください。

鑑賞サポート 劇場と子ども7万人プロジェクト

Constellation (コンステレーション) ～世界をつなげる愛知県芸術劇場ダンスプロジェクト～

2025年度より「愛知県芸術劇場ダンスアーティスト」制度を新たに導入しました。多様な背景を持つアーティストたちが地域と関わりながら劇場を拠点に創作を行い、愛知発の作品を国内外へと発信しています。また、新作の公開リハーサルやワークショップ、アーティストトークなどを通じて、多くの皆さまが創作の現場に触れる機会を広げることで、より親しみをもって愛知県芸術劇場に足を運んでいただけるように努めてまいります。

2026年度の主な活動

- 5月 「酒井はな×岡田利規『ジゼルのアらすじ』(オランダ・ユトレヒト)
 - 1月 名古屋洋舞家協議会創立40周年特別公演 島地保武の新作(愛知県)
 - 2月 「酒井はな×岡田利規『ジゼルのアらすじ』 島地保武の新作(鳥取県)
- その他当劇場での公演やワークショップ、国内外の舞台芸術見本市、フェスティバルなどにも参加予定



特設サイトはこちら▲



愛知県芸術劇場ダンスアーティスト
左から、島地保武、酒井はな、三東瑠璃、Null/岡田玲奈・黒田勇



©Tatsuo Nambu

県民の広場、世界への窓、そしてその先へ

愛知県芸術劇場は、県民の皆さまに開かれた「県民の広場」とあると同時に、国際的な舞台芸術との出会いを可能にする「世界への窓」としての役割を担ってまいりました。そして今、その先に広がる新たな創造の地平を見据え、さらなる歩みを進めています。

貸館事業を通じて多様な表現の場を提供する一方で、自主事業においては、「みる（鑑賞）」「つくる（創作）」「そだてる（人材養成）」「ひろげる（普及）」を柱とし、劇場発の文化創造に継続的に取り組んでいます。国内ダンスアーティストの養成と発信を行う「Constellation」や、オルガニストの養成を通じて、創り手が劇場や地域とともに歩む環境づくりなど、多角的な取り組みを展開しています。

また、世界的に評価の高い海外ダンスカンパニーを継続して招聘し、地域にしながら最先端の舞台芸術と出会える機会を創出してきました。次代を担う子どもたちに舞台芸術の魅力を伝える「劇場と子ども7万人プロジェクト」、すべての方に劇場の扉を開く「劇場ワンダーランド」、トークやワークショップなどの対話の場の充実、さらには字幕や鑑賞支援の整備など、多様なアプローチを通じてアクセシビリティの向上にも力を注いでいます。

公共劇場は、単なる上演の場にとどまらず、地域の文化を育み、創造の営みを次世代へとつないでいく循環を生み出す拠点でありたい。そうした思いのもと、今年度も多彩なプログラムを展開してまいります。皆さまのご来場を、心よりお待ちしております。

芸術監督（アーティスティックディレクター） 唐津 絵理

アーティスト人材養成



『AAF戯曲賞』 劇作家と戯曲を発掘するー

劇作家と戯曲の発掘を目的に、受賞作品を愛知県芸術劇場プロデュースで上演する「上演を前提とした戯曲賞」として2000年に設立。第23回より言葉で個と場と社会をつむぐ・つなぐ「言葉と個と場と」プログラムとしてリニューアルしました。演劇や戯曲がもつ力や可能性を拡大しつつ、地域課題や社会課題にアプローチする事業を展開していきます。第23回AAF戯曲賞の公開最終審査会を5月下旬に開催、第24回AAF戯曲賞の作品募集も実施予定です。



AICHI NEXT: Performing Arts Project

新たな才能・人材の発掘と養成を目的とする公募プログラム。小ホールや愛知芸術文化センター内のオープンスペース等での公演を通じて、作品の発表と発信を行います。採択プログラムには、制作費の支援に加え、上演に向けたサポートを行い、次世代アーティストによる領域横断的で実験的な作品や、地域資源の新たな魅力を発見する取り組みなど、ユニークで新規性のある企画を実現します。2026年度出演アーティスト:3月下旬発表予定。



『オルガニスト養成事業』 マンツーマンでパイプオルガンを学ぶ

将来この地域からオルガニストが誕生するきっかけになることを目指して2018年度からスタート。劇場オルガニスト都築由理江がコンサートホールの大オルガンでマンツーマンレッスンをを行います。これまでに音楽大学で本格的にパイプオルガンを学ぶ学生も輩出しています。



振付家・ダンサー養成事業

劇場ダンスアーティストや国内外の著名な講師による、バレエやコンテンポラリーダンスのレパトリークラスを開催。身体表現の最前線で求められる多様なスタイルへの適応力や表現力を磨く、実践的な学びの機会を提供します。

スタッフ人材養成



劇場職員セミナー

公立劇場の中堅職員を推奨対象者として、舞台芸術を担う人材を養成する研修プログラムを実施。講演・グループワーク・実習を通してスキル向上と情報共有を図り、劇場職員の専門性と交流を深めながら、より充実した舞台芸術環境の実現を目指します。



舞台芸術インターンシップ

劇場・舞台芸術に興味のある専門学校生・大学生などを対象に、演習・実習を通して創造に関わる仕事を学ぶインターンシップ。愛知県芸術劇場のプロデュース公演や様々な事業に参加し、舞台芸術の持つ力や、これからの現場で求められる役割について理解を深めます。

鑑賞サポート



愛知県芸術劇場では障がいの有無に関わらず舞台公演を楽しめる社会を目指して主催公演で情報保障の取り組みを行っています。

●ヒアリングループ

磁気システムを利用して補聴器を使用されている聴覚者の聞こえを補助します。（客席内の一部）



●日本語字幕

登場人物の台詞や舞台の音などの説明をタブレットまたは舞台上の字幕で表示します。



●プログラムデータの事前送付・点訳パンフレット

ご希望の皆さまへプログラムのデータを事前にメールでお送りします。また、公演当日に点訳パンフレットをご用意します。



タブレット日本語字幕



点訳パンフレット

【愛知県芸術劇場のすべての主催公演対象サポート】

●コミュニケーション支援ボード&筆談 ●車いす席等



劇場と子ども7万人プロジェクト



愛知県内には、一学年あたり約7万人の子どもたちがいます。愛知県芸術劇場では“子どもたちに、一度は劇場で舞台芸術を体験してもらいたい!”という思いから、2015年度に「劇場と子ども7万人プロジェクト」をスタートさせました。市町村と連携しながら、地域の将来を担う子どもたちを劇場に招待し、質の高い舞台芸術に触れてもらうことにより、子どもたちの豊かで健やかな心を育てることを目的としています。

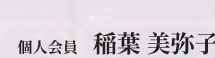
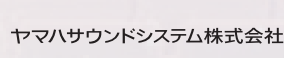
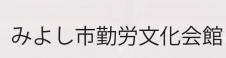
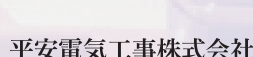
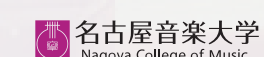
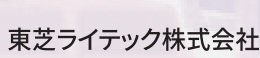
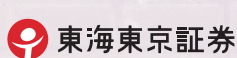
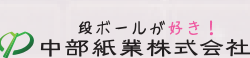
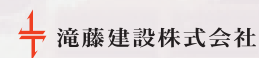
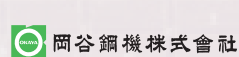
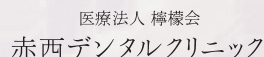
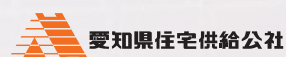


インクルーシブプログラム

年齢・性別・障がい・国籍などに関わらず、誰もが安心して参加できる舞台公演、ワークショップ、アウトリーチなどを提供する取り組みを行っています。



愛知県芸術劇場賛助会員（2026年度 芸術文化事業コース）



愛知県芸術劇場

（公益財団法人愛知県文化振興事業団）名古屋市中区東桜一丁目13番2号 TEL:052-211-7552(10:00～18:00) FAX:052-971-5541 Email:contact@aaf.or.jp https://www-stage.aac.pref.aichi.jp

デザイン:tami graphic design.